



国際交流員ダンコー・アンドレアさんの
H A J R Á K A N U N O !

*「ハイラー」はハンガリー語で「頑張れ」の意味



山に登りましょう！

紅葉の季節ですね。そして山登りの季節もあります。1年に山に登れる回数は季節や天気、アクセスなどのためかなり限られています。今年行かないと、もう日本に滞在している間には行けない山のことを考えると寂しいです。

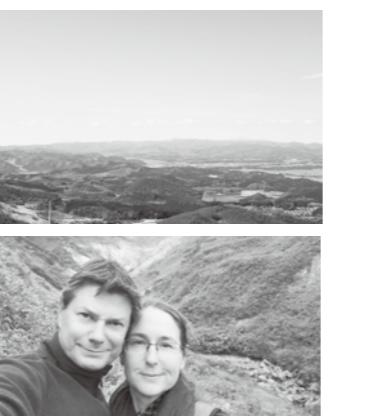
まずは、ハンガリーの山を紹介します。最も高い山は北ハンガリーリーにある1014mのケーケシュ山です。同じく、北部にある958mのインシュタツロシュコーサンは頂上まで登ったことがあります。景色が見えなくてとても残念でした。西部のオーストリアとの国境にある882mのイロットコーサンは家族で何度も散策したことがあります。

2年前に、秋田に来て、いつの間にか山登りは趣味になっていました。普段、ふもとから眺める山の頂上まで自分の力で頑張って登り、広大な景色を楽しみ、何が見えているのかを当ててみるのが楽しいです。

登山口までは、マイカーが便利ですが、バスもおすすめです。バスも詳しく調べれば行ける場所がたくさんあります。山から下りたら、帰りに温泉も行きましょう。蒸湯や後生掛、湯瀬などは特におすすめです。

今年の2月から登ってきた山は、山形の山寺や大湯の黒又山、尾去沢のテレビ塔、月山神社の山、森吉山、焼山、茂谷山、二ツ井の七座山、八幡平長沼、大鷲温泉にある山、栗駒山、秋田駒ヶ岳、松川温泉から源太ヶ岳、五ノ宮岳です。このほか、白神山地や岩木山などにも登りたいと思います。

フェイスブック公開中。「鹿角CIRダンコー・アンドレア」で検索してください。



第10代 日本語語学指導員

**Szia!
from Sopron**



堀川さゆみさんが任期を終えて帰国しました



9月28日に日本語語学指導員の堀川さんは、第10代目の日本語語学指導員として、平成30年から姉妹都市のハンガリーショプロン市で日本語を指導しました。日本語教室では、約60人の生徒への指導を通じて、「多くの生徒から日本について興味を持ってもらえた」と2年間の活動を振り返りました。中でも、「日本の風景の写真に感動する生徒が多かった」と言います。

堀川さんは「今後も鹿角市に関わりを持ったほしい」と話し、堀川さんも「これからも、鹿角市とショプロン市の交流に関わっていきたい」と感じていました。

宝くじ助成で地域コミュニティの活性化

コミュニティ助成事業とは

「一般財団法人 自治総合センター」が宝くじの社会貢献広報事業として、地域のコミュニティ活動の充実・強化のための助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する事業です。



整備した備品 プリンター・プロジェクター・除雪機



業です。

助成対象

- ・コミュニティ活動に必要な備品
- ・集会施設の整備
- ・青少年の健全育成のための、スポーツ・レクリエーション活動などの事業 など

市民共動課 共動推進班
30-0202

世界遺産登録に向けて

問 大湯ストーンサークル館 ☎ 37-3822

世界遺産 大湯環状列石

大湯環状列石の出土品①
「土版」

大湯環状列石の出土品①
「土版」

大湯環状列石からは土器や石器、装身具などが多く出土しています。今回は、大湯環状列石を代表する出土品の「土版」について紹介します。

土版の大きさは横3・7センチ縦5・8センチほどで、粘土の板に刺突した跡が見られ、人を模したような表現がされています。口にあたる部分に1つ、目にあたる部分には2つ、右胸に3つ、左胸に4つ、真ん中の正中線に5つ、そして裏面には6つの跡がつけられています。このことから縄文の人々が「数」に対する意識を持つていたと考えられています。数を数える道具や小さい子に数を教える道具など諸説ありますが、何に使つたのかは分かっていません。

土版は日本各地の遺跡から出土していますが、人を模して数が表現されているものは大湯環状列石の



大湯環状列石で出土した土版（左：表、右：裏）



世界遺産登録に向けた取り組み

1点しか見つかっていません。全国的に見ても大変貴重なこの土版は、大湯ストーンサークル館の展示ホールで展示していますので、ぜひご覧ください。